

3 高茶屋小学校3年生の校区探検

6月6日(月)高茶屋小学校3年生全員が「校区探検」として夢の郷を選んで来てくれました。帰り際に「将来、ここで働きたい。」と言ってくれた子もいました。

この体験を、感想文や絵としてまとめてくれました。絵は学校の廊下に貼ってあるとのこと。地域で共に生きる仲間として、今後も「校区探検」を歓迎します。



4 「花の日」プレゼント

6月12日(日)、加藤牧師(法人理事・評議員)が主祭されている阿漕教会の子ども6名、大人10名の信者様が*「花の日」を記念してお越しいただき、美しいお花と讃美歌「主 我を愛す」の2つのプレゼントをいただきました。ありがとうございました。

*「花の日」豆知識

アメリカのメソジスト教会が6月第2週目の日曜日を、「子供の日」として教会行事に加えることを決議し、さらに一年中で最も多くの季節であることから「花の日」として定め、信者が各々花を持ち寄り教会を飾り、礼拝後、その花を子供に持たせて社会福祉施設等を訪問したことがはじまりだそうです。



5 ご近所様

グループホーム利用者に対して顔見知りのご近所様が朝夕に「おはよう。」「おかえり。」と声を掛けていただいております。グループホームあすかのご近所の和田様もそうしたお一人で、熱心に畑で野菜作りに励んでいらっしゃいます。畑には丹精の結果である西瓜が立派に育っています。

お話を伺うと西瓜はツルの這わせ方や収穫時期が難しいと大切にお世話されていることが伝わってきました。

写真を撮らせていただきました。今後ともよろしくお祈りします。



編集後記 まだまだ暑さが続きます。お体を大切に。

編集委員 平田・林・清水・原口・佐野

夢の郷 つうしん

発行2016年 8月 通巻第38号 発行責任者：日野 昭義
〒514-0818 津市城山1丁目8番16号
Tel 059-238-0303 Fax 059-238-0304

<http://yumenosato.net> [mail:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp](mailto:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp)

基本理念：夢の郷は、障害者が安心して地域で暮らせる生活支援を行います。

- ・人権を守り主体性の尊重に努めます。
- ・地域暮らしのための環境整備に努めます。
- ・安心と安全の保障に努めます。



夢の郷は、就労継続支援B型事業のいすず工房、クローバーハウスと、生活介護事業・宿泊型自立訓練事業の朝海ハイム、相談支援事業・日中一時支援事業のアンダンテ、そして共同生活事業のグループホーム等を運営しています。今回は、いすず工房とクローバーハウスを紹介します。

◎いすず工房

いすず工房は、通常の事業所で年齢・心身の状態等により雇用されることが難しくなった障害者に対し、生産活動へ参加や就労に向けた必要な支援を行う就労継続支援B型事業所です。

地域の方々や工場にご支援ご協力をいただきながら作業種目として①給食・弁当事業②うどんの製造販売(いすず亭)③工場受託作業④こころの医療センター内で「喫茶タイム」及び「和み部屋」での接客販売を行っています。これらの作業は、利用者の年齢や個性に合わせて行っています。

弁当作りでは、女性の利用者も参加し、素早くきれいに詰め込みます。それを職員が県庁等の注文先に配達しています。美味しいと評判のカレーには、利用者が心を込めて炒めた玉ねぎが入っています。

うどん作りも、県内産の小麦粉を使い室温や材料に気を配りながら仕込み・プレス・カット作業を利用者が一人で行っています。受託先への納品時刻が迫る時は、全員協力して作業に取り組みます。

人間関係を築くことが難しいと思われていた利用者が、いすず亭や喫茶タイム等で積極的に接客販売できるようになりました。

●平成27年度の活動実績

20代から60代の利用者24人が在籍し、平均1日17.5人が作業しています。職員は、管理者や指導員等10人で支援しています。利用者の頑張りにより平均工賃は時給502円になりました。



いすず亭



うどん



お弁当

◎クローバーハウス

クローバーハウスは、作業種目として①パン・缶詰パンの製造販売②クッキー・焼き菓子の製造販売③工場受託作業を行う就労継続支援 B 型事業所です。各種作業は、利用者の年齢・適正等に応じたものとしています。各種パン・缶詰パン・クッキーの製造は職員が行っていますが、品物の商品ラベル貼り・配送仕分け等の作業は利用者が担っています。高等学校や各種イベント会場等でパン等の販売を行い、販売方法・接客マナー等の向上に努めています。

当初、短時間の軽作業しか出来なかった利用者が、仲間や職場に慣れるにつれ作業能力を向上させ、新しい作業に挑戦し賃金を得ることに生きがいを感じ元気に働いています。

●平成 27 年度の活動実績

20 代から 60 代の利用者 38 人が在籍し、1 日当たり平均利用者数は 18.8 人です。職員は、管理者や指導員等 11 人で支援しています。利用者の頑張りにより平均工賃は時給 452 円になりました。

【缶詰パンについて】

長期保存可能(2 年間)で災害備蓄用にも適した缶詰パンとして製造を始め 6 年目となります。新聞・ラジオ等で報道されたことや、各種イベント時のチラシ配布等により、徐々に認知度が上がり、行政機関や各種テナントでの販売を伸ばしている状況です。最近オープンした道の駅「津かわげ」や「朝津味交流館」でも販売させていただいております。

【パイローラー助成】

缶詰パン製造に必要な機械であるパイローラーが老朽化していたため、三重県共同募金会より 30 万円の助成金をいただき、5 月に新しいパイローラーを設置しました。利用者・職員一同、ご厚意に報いるためにもパイローラーを有効活用して、更においしい缶詰パン作りに励みたいと思っています。



【オリジナルラベルでの缶詰パンコラボ】

セントヨゼフ女子学園 2016 年学園祭のバザール品として缶詰パンの注文を受けました。

学園のキャラクターをラベルとして販売したところ 1 時間で完売の盛況でした。

今後もこのような取組を目指しています



【缶詰パンによる寄附】

今年 3 月に発生した熊本地震被災者に対して、缶詰パンを直接送付することは難しいため、職員や関係者に売り上げの一部を寄附目的とする缶詰パンの販売を行い、7 月 25 日に三重県共同募金会に 6 万 3 千円の寄附を行いました。今後もこのような社会に貢献する活動を進めていきたいと考えています。



交流広場 訪問者の中からピックアップして掲載させていただきました

1 JAZZ コンサート

5 月 7 日 (土) 13 時からアンダンテでアマチュア JAZZ バンドによるコンサートが開催され、多くの利用者さんが楽しい時間を持たせていただきました。

コンサートでは、JAZZ のスタンダードナンバーとなっているテネシーワルツやセンチメンタルジャーニー等の数曲を日本語で歌っていただき、理解も一層深まり楽しさも倍増でした。特にボーカルの Ryouko さんの MC が絶妙で「楽しくて良かった。」「元気になった。」「お金を出してまではなかなか聞きにいけないが、ここで聞ける幸せを感じた。」「また来てほしい。」との声がありました。

演奏者からは、利用者が JAZZ を楽しんでいることが分かり、やりがいを感じ楽しかった。ジャズという名のバラの花やパンをいただき、とてもうれしかった との声をいただきました。

メンバーの Ryouko 様、Moja 様、Kenny 様、Toshihiko 様 サンキューベリーマッチメンバー様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



2 ドイツから見学者

6 月 1 日、三重大学医学部看護科の児玉先生に引率されて看護科へ留学中の 4 名のドイツの若者達が、日本の精神障がい福祉の現状を知るための一環として見学に来てくれました。

児玉先生によると、留学生達は、各事業所を熱心に見学し、利用者さんが距離をおかず話しかけてくれるフレンドリーな一面に触れられて感激していたとのことでした。

また、精神障がい者を取り巻く違いについて、ドイツでは地域と共に暮らしがあること、日本では精神病院が多いことを驚いているとのことでした。

